



<CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2019年8月23日

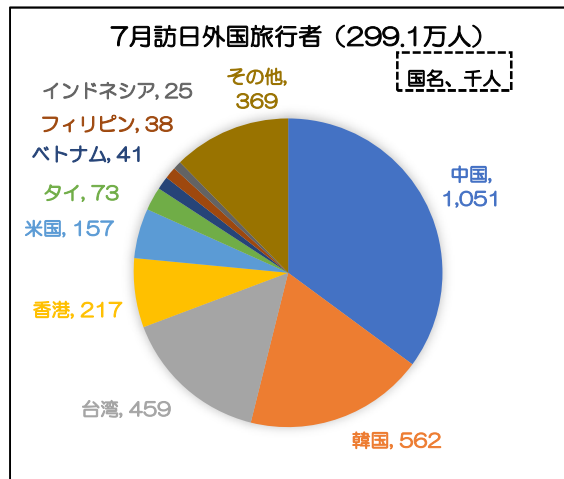
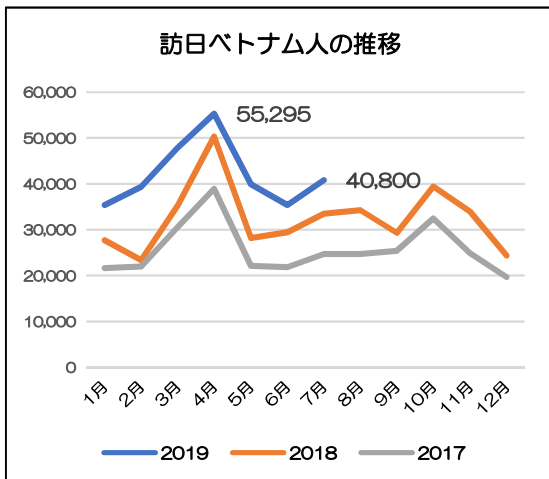
7月の訪日ベトナム人

+21.8%で7月としては過去最高

日本政府観光局（JNTO）によると、7月に日本を訪れたベトナム人は前年同月比 +21.8%の 4万800人（推定値）で、7月として過去最高を記録した。夏季休暇シーズンの到来に伴い旅行需要が高まる中、ラベンダーやヒマワリなど花鑑賞を目的とした訪日旅行商品の販売が好調だったことに加え、格安航空会社（LCC）等の新規就航や増便による航空座席供給量の増加により、訪日者数は好調に推移した。

他の訪日旅行者を国・地域別にみると、中国（前年同期比+19.5%の約105万人）で最多、その他、タイ（同-1.6%の約7.3万人）、フィリピン（同+30.5%の約3.8万人）、インドネシア（同-4.9%の約2.5万人）など。

7月の訪日外国人総数は前年同月比+5.6%の約299.1万人で前年同月を約16万人上回り、単月として過去最高を記録した。1～7月の訪日ベトナム人の累計は、前年同期比+29.1%の約29.4万人。1～7月の訪日外国人総数は同+4.8%の約1,962万人だった。



出所：JNTOのデータを基にキャピタル アセットマネジメントにて作成

以上